

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう。 体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 各運動の基礎的技術を身につけると共に各種スポーツを集団で行う態度を身につけます。	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館)
講座名	1年男子	科目名	体育			副教材	
単位数	2単位	区 分	必修				
年 次	1年次	形 態	2クラス男女別展開				
担当者名	山村・湯原						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
	・スポーツテスト ・陸上競技(ハードル走) ・マット運動 ・体育理論 ・バレーボール	・スポーツテスト ・水泳(クロール・平泳ぎ)	・体育理論 ・水泳(クロール・平泳ぎ) ・バレーボール ・バスケットボール ・ソフトボール	・バスケットボール ・ソフトボール	・持久走 ・体育理論
定期考査 までの 授業時数	9時間	9時間	14時間	9時間	15時間

評価	観点	方法	基準			
			A	B	C	
評価	知識・技能	記録の向上、自己や仲間の課題を解決する方法を理解する。各種目特有の技能を身につけているか。	授業で学んだ知識や技能を実技テスト及び課題で評価する。	授業で得た技能や知識を十分に理解しており、各種の運動の特性に応じた技能を身につけ、なおかつそれを高めることができた。	授業で得た技能や知識をほぼ理解しており、各種の運動の特性に応じた技能を身につけることができた。	授業で得た技能や知識の理解が不十分で、各種の運動の特性に応じた技能を十分に身につけられていない。
	思考・判断・表現	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えられたか。	技能や練習方法の調べ学習及び実技後の考察のレポート作成などから評価する。	レポートや実技を通じて、十分な考察や正しい判断をすることができ、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることができ、自分の考えを相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることが不十分で、自分の考えを相手に伝えることに努力を要する。
	主体的に学習に取り組む態度	身体運動に関心を持ち、公正・責任・協力などの態度を身につけたか。意欲的、計画的に運動する態度を身につけることができたか。	授業への取り組み、授業態度、出席状況などにより評価する。	毎時間の授業に、主体的・意欲的に参加するとともに、自らの課題を克服しようとする意識できている。	毎時間の授業に参加するとともに、自らの課題に取り組んでいる。	身体運動への関心が低く、意欲的に取り組めない、また、自ら知識を得ようとする意識が不十分である。

日常の学習方法	2クラス男女別展開で実施。一斉授業の形態をとっているが、自主的な取り組みと探究心の育成を目指し、グループでの活動が基本となる。6月から9月に実施する水泳は男女別で行う。家庭学習は特に必要ないが、実技科目なので、欠席をしないよう健康管理に留意してほしい。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	スポーツ科、教育系体育学科の大学進学を希望している者は、体育委員や種目のリーダーなどを経験し、リーダーシップの育成を図る。また、Iランク上の技能の習得を目指す。
-----------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう。 体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 各運動の基礎的スキルを身につけると共に各種スポーツを集団で行う態度を身につけます。	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館)
講座名	1年女子	科目名	体育			副教材	
単位数	2単位	区 分	必修				
年 次	1年次	形 態	2クラス男女別展開				
担当者名	山村・太田						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツテスト</li> <li>・陸上競技(短距離走)</li> <li>・からだづくり運動</li> <li>・体育理論</li> <li>・バレーボール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツテスト</li> <li>・水泳(クロール・平泳ぎ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論</li> <li>・水泳(クロール・平泳ぎ)</li> <li>・サッカー</li> <li>・バレーボール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール</li> <li>・サッカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持久走</li> <li>・体育理論</li> </ul>
定期考査までの授業時数	9時間	9時間	14時間	9時間	15時間

評価	観点	方法	基準		
			A	B	C
知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	記録の向上、自己や仲間の課題を解決する方法を理解する。各種目特有の技能を身につけているか。	授業で学んだ知識や技能を実技テスト及び課題で評価する。	授業で得た技能や知識を十分に理解しており、各種の運動の特性に応じた技能を身につけ、なおかつそれを高めることができた。	授業で得た技能や知識をほぼ理解しており、各種の運動の特性に応じた技能をほぼ身につけることができた。	授業で得た技能や知識の理解が不十分で、各種の運動の特性に応じた技能を十分に身につけられていない。
	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えられたか。	技能や練習方法の調べ学習及び実技後の考察のレポート作成などから評価する。	レポートや実技を通じて、十分な考察や正しい判断をすることができ、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることができ、自分の考えを相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることが不十分で、自分の考えを相手に伝えることに努力を要する。
	身体運動に関心を持ち、公正・責任・協力などの態度を身につけたか。意欲的、計画的に運動する態度を身につけることができたか。	授業への取り組み、授業態度、出席状況などにより評価する。	毎時間の授業に、主体的・意欲的に参加するとともに、自らの課題を克服しようという意識できている。	毎時間の授業に参加するとともに、自らの課題に取り組んでいる。	身体運動への関心が低く、意欲的に取り組めない、また、自ら知識を得ようとする意識が不十分である。

日常の学習方法	2クラス男女別展開で実施。一斉授業の形態をとっているが、自主的な取り組みと探究心の育成を目指し、グループでの活動が基本となる。6月から9月に実施する水泳は男女別で行う。家庭学習は特に必要ないが、実技科目なので、欠席をしないよう健康管理に留意してほしい。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	スポーツ科、教育系体育学科の大学進学を希望している者は、体育委員や種目のリーダーなどを経験し、リーダーシップの育成を図る。また、Iランク上の技能の習得を目指す。
-----------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深める。 涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 現代社会に対処していくための方法を身近で具体的な事例から考察する。	教科書	現代高等保健体育(大修館)		
講座名	保健(1年)	科目名	保健		副教材			
単位数	3単位	区 分	必履修					
年 次	1年次	形 態	クラス単位					
担当者名	1組 東原	2組 東原	3組 山村	4組 東原	5組 山村	6組 東原	7組 山村	8組 山村

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
保健授業のオリエンテーション 骨格系 循環器系 筋肉系		消化器系 喫煙 飲酒 薬物 オリパラ	オリパラ 生活習慣病	オリパラ CPR理論 一次救命 呼吸器系 内臓観察	感染症 心と体 適応規制
定期考査 までの 授業時数	3時間	5時間	5時間	5時間	7時間

評価	観点	方法	基準		
			A	B	C
知識・技能	観察や授業などを通して健康についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているか。	授業や観察を通して学んだ知識や技能を定期考査または授業中の課題で評価する。	授業で得た知識を十分理解している。	授業で得た知識をほぼ理解している。	授業で得た知識の理解が不十分である。
	観察や授業などを通して、健康に対して問題を見だし、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりすると共に、事実に基づいて科学的に判断できるか。	観察等を行い、レポートを書く。提出された課や定期考査などから評価する。	観察や授業で得た知識から十分な考察、正しい判断をすることができ、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	観察や授業で得た知識から考察し、判断し、自分の考えを相手に伝えることができる。	観察や授業で得た知識からの考察が不十分で、自分の考えを相手に伝えることができない。
	主体的に学習に取り組む態度	自身の健康に対して関心を持ち、意欲的にそれらを考えると共に、更なる知識等を得ようとする意欲、態度があるか。	授業に対する姿勢、学習態度、提出課題等で判断する。	自身の健康に対して深い関心を持ち、主体的・意欲的にそれらを考えると共に、自ら知識等を得ようとする意識できている。	自身の健康に対して関心を持ち、それらを考えると共に、自ら知識等を得ようとする意識できている。

日常の学習方法	①授業中 クラス毎に教科書やプリント、パワーポイントを用いて進めていきます。 ②家庭学習 特に予習復習は必要ありませんが、日常生活の中で保健的な視点を意識した生活を取り入れ、自分の身体や健康状態に関心を持ってほしいと思います。 グループ学習時は同グループの生徒と協力して学習を進める。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	受験科目に保健を課す大学はありませんので、大学入試とは特に関連はありません。健康や環境に興味を持つことで医学・体育・環境・教育の分野の大学に進学を希望する生徒も出てくると思います。
-----------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう。 体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 各運動の基礎的スキルを身につけると共に各種スポーツを集団で行う態度を身につけます。	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館)
講座名	2年男子	科目名	体育			副教材	
単位数	2単位	区 分	必修				
年 次	2年次	形 態	2クラス男女別展開				
担当者名	東原・岡部						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
	・スポーツテスト ・陸上競技(ハードル走) ・マット運動 ・体育理論	・スポーツテスト ・水泳(背泳ぎ・バタフライ)	・体育理論 ・水泳(背泳ぎ・バタフライ) ・バスケットボール ・サッカー	・バスケットボール ・サッカー	・持久走 ・体育理論
定期考査 までの 授業時数	9時間	9時間	14時間	9時間	15時間

評価	観点	方法	基準		
			A	B	C
知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度	記録の向上、自己や仲間の課題を解決する方法を理解する。各種目特有のスキルを身につけているか。	授業で学んだ知識や技能を実技テスト及び課題で評価する。	授業で得た技能や知識を十分に理解しており、各種の運動の特性に応じたスキルを身につけ、なおかつそれを高めることができた。	授業で得た技能や知識をほぼ理解しており、各種の運動の特性に応じたスキルをほぼ身につけることができた。	授業で得た技能や知識の理解が不十分で、各種の運動の特性に応じたスキルを十分に身につけられていない。
	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えられたか。	技能や練習方法の調べ学習及び実技後の考察のレポート作成などから評価する。	レポートや実技を通じて、十分な考察や正しい判断をすることができ、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることができ、自分の考えを相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることが不十分で、自分の考えを相手に伝えることに努力を要する。
	身体運動に関心を持ち、公正・責任・協力などの態度を身につけたか。意欲的、計画的に運動する態度を身につけることができたか。	授業への取り組み、授業態度、出席状況などにより評価する。	毎時間の授業に、主体的・意欲的に参加するとともに、自らの課題を克服しようとして意識できている。	毎時間の授業に参加するとともに、自らの課題に取り組んでいる。	身体運動への関心が低く、意欲的に取り組めない、また、自ら知識を得ようとする意識が不十分である。

日常の 学習方法	2クラス男女別展開で実施。一斉授業の形態をとっているが、自主的な取り組みと探究心の育成を目指し、グループでの活動が基本となる。6月から9月に実施する水泳は男女別で行う。家庭学習は特に必要ないが、実技科目なので、欠席をしないよう健康管理に留意してほしい。
-------------	--

大学受験や 発展的な内 容との関連	スポーツ科、教育系体育学科の大学進学を希望している者は、体育委員や種目のリーダーなどを体験し、リーダーシップの育成を図る。また、Iランク上の技能の習得を目指す。
-------------------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう。 体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 各運動の基礎的スキルを身につけると共に各種スポーツを集団で行う態度を身につけます。	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館)
講座名	2年女子	科目名	体育			副教材	
単位数	3単位	区 分	必修				
年 次	2年次	形 態	2クラス男女別展開				
担当者名	太田・岡部・湯原						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
	・スポーツテスト ・バドミントン ・バレーボール ・体育理論	・スポーツテスト ・バドミントン ・バレーボール ・水泳(背泳ぎ・バタフライ)	・水泳(背泳ぎ・バタフライ) ・ソフトボール ・ダンス ・バスケットボール ・サッカー ・体育理論	・ソフトボール ・ダンス ・バスケットボール ・サッカー	・持久走 ・体育理論
定期考査 までの 授業時数	9時間	9時間	14時間	9時間	15時間

評価	観点	方法	基準		
			A	B	C
知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に学 習に取り組 む態度	記録の向上、自己や仲間の課題を解決する方法を理解する。各種目特有のスキルを身につけているか。	授業で学んだ知識や技能を実技テスト及び課題で評価する。	授業で得た技能や知識を十分に理解しており、各種の運動の特性に応じたスキルを身につけ、なおかつそれを高めることができた。	授業で得た技能や知識をほぼ理解しており、各種の運動の特性に応じたスキルをほぼ身につけることができた。	授業で得た技能や知識の理解が不十分で、各種の運動の特性に応じたスキルを十分に身につけられていない。
	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えられたか。	技能や練習方法の調べ学習及び実技後の考察のレポート作成などから評価する。	レポートや実技を通じて、十分な考察や正しい判断をすることができ、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることができ、自分の考えを相手に伝えることができる。	レポートや実技を通じて、考察や判断をすることが不十分で、自分の考えを相手に伝えることに努力を要する。
	身体運動に関心を持ち、公正・責任・協力などの態度を身につけたか。意欲的、計画的に運動する態度を身につけることができたか。	授業への取り組み、授業態度、出席状況などにより評価する。	毎時間の授業に、主体的・意欲的に参加するとともに、自らの課題を克服しようという意識できている。	毎時間の授業に参加するとともに、自らの課題に取り組んでいる。	身体運動への関心が低く、意欲的に取り組めない、また、自ら知識を得ようとする意識が不十分である。

日常の 学習方法	2クラス3展開で実施。一斉授業の形態をとっているが、自主的な取り組みと探究心の育成を目指し、グループでの活動が基本となる。6月から9月に実施する水泳は男女別で行う。 家庭学習 は特に必要ないが、実技科目なので、欠席をしないよう健康管理に留意してほしい。
-------------	--

大学受験や 発展的な内 容との関連	スポーツ科、教育系体育学科の大学進学を希望している者は、体育委員や種目のリーダーなどを経験し、リーダーシップの育成を図る。また、Iランク上の技能の習得を目指す。
-------------------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	各年代の健康の問題や課題を個人だけでなく集団としての解決法について学ぶ。 自主的な課題学習を通して、健康維持・増進の実現について考えていく。	教科書	現代高等保健体育(大修館)	
講座名	保健(2年)	科目名	保健			副教材		
単位数	1単位	区 分	必履修					
年 次	2年次	形 態	クラス単位					
担当者名	1組 湯原	2組 岡部	3組 岡部	4組 太田	5組 太田	6組 太田	7組 岡部	8組 湯原

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
オリエンテーション グループ分け 現在、社会で問題となっている男女にかかわる問題についてディスカッションする スキャモンの発育・発達曲線にみる思春期の特徴 男性の生殖器の構造、性機能①② 女性の生殖器の構造、性機能①	女性の生殖器の構造、性機能② 性周期、月経の仕組み 夏休みの課題と2学期以降の授業について 性ホルモンの働き、男性女性特有の疾病 受精から妊娠中期までの母体と胎児の変化	夏休みの課題の整理と2学期の発表について 妊娠後期から出産・育児 不妊治療・生殖医療 研究テーマの決定 避妊法	人工妊娠中絶 予備実験の経過報告 DV・児童虐待 性犯罪 本実験とそのまとめ①	本実験とそのまとめ② 研究のまとめプレゼンテーション資料の作成①② 研究発表(グループ発表)①②③ 全体研究発表(ポスター発表:課題研究との同時開催)	
定期考査 までの 授業時数	6時間	5時間	5時間	5時間	7時間

評価	観点	方法	基準		
			A	B	C
知識・技能	観察や授業などを通して健康についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているか。	授業や観察を通して学んだ知識や技能を定期考査または授業中の課題で評価する。	授業で得た知識を十分理解している。	授業で得た知識をほぼ理解している。	授業で得た知識の理解が不十分である。
	観察や授業などを通して、健康に対して問題を見だし、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりすると共に、事実に基づいて科学的に判断できるか。	観察等を行い、レポートを書く。提出された課や定期考査などから評価する。	観察や授業で得た知識から十分な考察、正しい判断をすることができ、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	観察や授業で得た知識から考察し、判断し、自分の考えを相手に伝えることができる。	観察や授業で得た知識からの考察が不十分で、自分の考えを相手に伝えることができない。
	主体的に学習に取り組む態度	自身の健康に対して関心を持ち、意欲的にそれらを考えると共に、更なる知識等を得ようとする意欲、態度があるか。	授業に対する姿勢、学習態度、提出課題等で判断する。	自身の健康に対して深い関心を持ち、主体的・意欲的にそれらを考えると共に、自ら知識等を得ようとして意識できている。	自身の健康に対して関心を持ち、それらを考えると共に、自ら知識等を得ようとして意識できている。

①授業中 クラス毎に教科書やプリント、パワーポイントを用いて進めていきます。	②家庭学習 特に予習復習は必要ありませんが、日常生活の中で保健的な視点を意識した生活を取り入れ、自分の身体や健康状態に関心を持ってほしいと思います。 グループ学習時は同グループの生徒と協力して学習を進める。
---	---

大学受験や発展的な内容との関連	受験科目に保健を課す大学はありませんので、大学入試とは特に関連はありません。健康や環境に興味を持つことで医学・体育・環境・教育の分野の大学に進学を希望する生徒も出てくると思います。
-----------------	--

令和5年度(2023年度) 授業計画				目 標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう。</p> <p>体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。</p> <p>生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p> <p>各運動の基礎的スキルを身につけると共に各種スポーツを集団で行う態度を身につける。</p>	教科書		
講座名	体育(3年)	科目名	体育			副教材	特になし	
単位数	2単位	区 分	必修					
年 次	3年次	形 態	2クラス合同展開					
担当者名	1・2組 太田、岡部、湯原、山村		3・4組 太田、岡部、東原、湯原、山村		5・6組 湯原、岡部、東原、山村		7・8組 太田、岡部、東原、湯原	

学校行事	第1学期 遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期 木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期 <第5定期考査>		
授業内容	スポーツテスト ソフトボール・バドミントン・バレーボール・卓球から1種目選択	水泳	夏季休業期間	水泳 サッカー・バドミントン・バスケットボール・テニスから1種目選択	冬季休業期間	サッカー・バドミントン・バスケットボール・テニスから1種目選択	体育館種目(2クラス合同)、外種目(クラスごと)種目自由選択
	定期考査までの授業数	時間	時間	時間	時間	時間	時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト				



評価の観点 評価方法	<p>運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫しているか。</p> <p>各種の運動の特性に応じた、技能を高め、運動の合理的な行い方を身につけているか。</p> <p>各種の運動の技能に関するテストや運動の実践に必要な公正、協力、責任などの態度で評価する。</p> <p>実技テスト、授業に対する取り組み、授業態度、出欠席等により評価します。</p>
---------------	---

日常の 学習方法	<p>①授業中 2クラス男女別に、種目選択授業を行いません。</p> <p>②家庭学習 特に必要ありません</p>
-------------	---

大学受験や 発展的な内容との関連	<p>体育・教育系の大学進学を考えている者はより積極的に取り組み、リーダーシップを発揮し集団をまとめ、技術的にもより高いレベルを目指してほしいと思います。</p>
---------------------	---

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	採点競技及び測定競技および球技の特性についての理解を深める。 計画的な運動の実践を通してスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにする。 技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。 より専門的な内容で、各スポーツの運動技能の向上を目指す。	教科書	
講座名	スポーツ I	科目名	スポーツ I			副教材	特になし
単位数	2単位	区 分	自由選択				
年 次	3年次	形 態	少人数				
担当者名	東原						

学校行事	第1学期	修学旅行	<第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期	木もれ陽祭	<第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期	<第5定期考査>
授業内容	ガイダンス		トレーニング	夏季休業期間	トレーニング		実技受験種目対策およびトレーニング	冬季休業期間		実技受験対策
	トレーニング		テニス		ハンドボール		実技受験種目対策およびトレーニング			実技受験対策
	陸上競技		水泳		トレーニング					
	トレーニング		水泳		サッカー					
	陸上競技		水泳		トレーニング					
	トレーニング		トレーニング		サッカー					
	バレーボール		バスケットボール		ストレッチング					
	トレーニング		トレーニング		マット運動					
	バレーボール		バスケットボール		ストレッチング					
	トレーニング		トレーニング		マット運動					
	バレーボール		バスケットボール		実技受験種目対策およびトレーニング					
	トレーニング		トレーニング		実技受験種目対策およびトレーニング					
	バドミントン		ソフトボール		実技受験種目対策およびトレーニング					
	トレーニング		トレーニング		実技受験種目対策およびトレーニング					
	バドミントン		ソフトボール		実技受験種目対策およびトレーニング					
	トレーニング		トレーニング		実技受験種目対策およびトレーニング					
	バドミントン		ソフトボール							
	トレーニング		トレーニング							
	テニス		ハンドボール							
定期考査までの授業数	時間		時間		時間		時間		時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト				



評価の観点 評価方法	○運動の実践に必要な公正、協力、責任などの態度を身につけることができたか。 ○意欲的・計画的に運動しようとする態度を身につけることができたか。 ○各種の運動の特性に応じた技能を身につけ、なおかつそれらを高めることができたか。 ○毎時間の授業に積極的に参加することができたか。 定期考査、小テスト、レポート等提出物、授業態度等により、評価する
---------------	--

日常の 学習方法	①授業中 男女共修の形で行ないます
-------------	----------------------

大学受験や 発展的な内容との関連	体育系・教育関係に進学希望で体育の専門性を追求します。技能の向上を目標として、指導方法、練習方法を研究行ないます。
---------------------	---